

5月のおすすすめ本

『母ではなくて、親になる』

【分類 3206/ヤ】山崎ナオコーラ/著 河出書房新社 2017年

作家・山崎ナオコーラさんと書店員の夫が経験した、子どもの誕生から成長の1年間をつづった育児エッセイ。著者は妊娠中から、「自分らしくないことはしない。母ではなくて、親になろう。」と決意し、夫婦間のフェミニズムのあり方・育児中の仕事への向きあい方など、子育て中のジレンマに囚われることなく突き進んでいきます。

「理想の母親像の呪縛」に悩まれている方は、ぜひ一読を。

『暮らしのなかのボイコット 消費者市民としての50年』

【分類 4202/ト】富山洋子/著 現代書館 2016年

「すこやかないのちを未来へつないでいく」という理念のもと著者は日本消費者連盟の活動に関わり、全国各地の暮らしを守ろうと奮闘している人々と交流してきました。たとえば、太陽光発電の普及に取り組んできたことで東日本大震災以降注目された、長野県飯田市を訪問。そこではイノシシ鍋やヤマメの塩焼きなど地産地消の食に感動しました。安全な暮らしは人任せでは実現できず、自ら行動しなければならないということを痛感させられます。

『危機の現場に立つ』

【分類 J/8102/ナ】中満泉/著 講談社 2017年

著者中満泉さんの国連オフィスには世界中で起こる紛争や事件がわかるように、BBC ニュースがいつもつけてあるそうです。国連軍縮担当事務次長であり、二人の女の子のお母さんでもある著者は、世界中の紛争地域で平和活動に奮闘してきました。初めての海外生活の話、国連難民高等弁務官事務所で働く意義、スウェーデンでの子育て等々内容盛りだくさんです。また、本書は世界の中の日本について考える機会を与えてくれます。この本はお子様でも読みやすいようにふりがながふってあり、用語の説明も掲載されています。